

2019年度 福島県川内村高齢者支援を通じた 地域包括ケアを担う人材育成への取り組み ～学内報告会～

【日時】 令和元年 7月 11 (木曜日) 10:00～ (約 10 分間)

【場所】 長崎大学医学部保健学科 1階 101 講義室

【発表者】 長崎大学医学部保健学科看護学専攻	学生	太田詩織
同	学生	新北小春
同	学生	徳丸藍子
同	学生	酒瀬川政孝

【報告者】 長崎大学医学部保健学科 准教授 吉田浩二

【内容・報告など】

本事業の一環として、学内の学生約 100 名に対し、6 月の福島県内での活動の報告会を行った。聴講者は保健学科の看護・理学・作業の学生で、3 年次科目「統合ケア論」の受講生であった。この科目は地域包括ケアシステムを学ぶ科目であり、本事業の報告会として意義がある設定であった。

学生は、その授業の一部の時間を用いて、高齢者施設でのレクレーションの経験や地域包括ケアに求められる施設や専門職としての役割、さらには帰還困難区域見学の様子を受講学生に伝えた。発表した学生は、自分たちの経験を多くの学生に知ってもらう目的で報告を行ったが、聴講した学生からは「体験した学生の生の声を聴けてよかった」「被災地ではまだまだ課題が多いことを知った」などとコメントが寄せられ、短い報告会であったが学生間で共有することの意義を学ぶ機会となった。



学内報告会の様子

本事業では、限られた学生のみが被災地の現状を見学する機会があるが、その学びについて、参加した学生自身の学びにとどまらず、他の学生へ共有していくことが、地域包括ケアおよび被災地支援の学びを深める上では重要であると考え

文責 吉田浩二